



駒木 雅月くん  
(黒崎・6歳)



藤島 晶さん  
(白井・10歳)



熊谷久利実さん  
(釜石市片岸町・9歳)



源田 晴菜さん  
(中央区・7歳)

# ありがとう

## 福祉に役立てて 堀内小が募金寄付

堀内小学校(箱石恵美子校長・児童六十人)は十一月二十九日、全児童に呼び掛けた募金一万二千百十三円を「恵まれない人たちが福祉のために役立ててください」と県共同募金会普及分会(分会長・深渡宏村長)に寄付しました。児童会長の米内佑希君ら六年生、五年生四人が役場を訪れ、坂下洋一助役に



坂下助役に募金が手渡されました

手渡しました。助役は、「皆さんの暖かい善意に感謝します」と感謝の言葉を贈りました。

「せんそう中に、いぬをかうのは、ぜいたくだ。いぬはころしてしまえ」

ぼくは、「ぜいたく」だなんていう理由で犬を殺すなんてひどいと思いました。ぼくは、犬をかっていないけど、もし犬をかっていたらしたら殺されるなんてがまんできません。

シロが、たけしのいえがもえているのをいちはやくみつけたので、ぼくはシロはりこうだなあと思いました。

ぼくは、犬が好きです。いつかはかいたいと思います。だから、犬をかってる人をだまして殺すなんて、ぼくはゆるせません。シロがつれていかれそうになつたと



## シロとたけしを読んで

☆小学校中学年の部

黒崎小四年 正路 卓麻

きに、たけしとくにおとよしおがシロの声をこまかすために犬のふりをして走り回って遊んだので、シロはつれていかれませんでした。ぼくは、シロがつれていかれな

かつたのでホツとしました。でも、こうして一回目は、つれていかれずにすんだけど次の日たけしが学校へ行っている間に、へいいたいによって、シロはけいさつしよにつ

れていられました。それを知ったたけしは、けいさつしよに走って

いきました。でも、けいさつしよについたときにはシロは殺されて、ほかの犬の死体といつしよに、馬車にのせられていました。

今年の八月に先生がかった

犬が、びょういんで死んでしまいました。ぼくは、シヨックであまり食よくがでませんでした。その犬が小さい子犬のころからよく遊んでいたし、時間があれば、会いに行っていたし、大好きな犬だったからです。たけしは、兄弟のようにならなくてきたシロをなくしたのだから、シヨックもそうとう大きかったと思います。だから立ち直るまでにはいっぱい時間がかかったと思います。

ぼくが、読み終わったときに一番心にとっている言葉は、シロがゆめの中でいった「たけし、せんそうのない地球で、またあおうね」という言葉です。たしかに、せんそうさえなかつたら、シロた

ちは死なずにすんだし、たけしもつらい思いをしなくてもすんだのです。

せんそう中は、ふだんならぜつたいやらないようなことを平気でしてしまつとところがとてもこわいと思います。人間のつこうで、動物たちの命をうばうなんて、ひどいと思います。シロの言った通り、この地球がせんそうのない星になつてほしいと思います。

ぼくは、たけしがゆめの中でシロに会えてうれしかったらどうなあと思いました。ぼくも、八月に死んだその犬にゆめの中でもいから会いたいです。

「原文のまま」(卓麻くんは現在五年に進級しています)